

Javaのインストール

5 ブラウザからの操作

■ブラウザ操作について

ブラウザがインストールされている PC を LAN 経由でデマンドモニタ II にアクセスし、デマンドグラフの表示、データのダウンロード、装置の設定を行います。

《必要システム》

オペレーティングシステム	日本語版 Microsoft Windows XP Home / Professional ServicePack3 (SP3) 日本語版 Microsoft Windows Vista HomeBasic / Business ServicePack2 (SP2) 日本語版 Microsoft Windows 7 Starter (32bit) / HomePremium(32,64bit) / Professional(32,64bit)
ブラウザ	日本語版 Microsoft Internet Explorer 6.0 / 7.0 / 8.0(32,64bit)
PC 本体	クロック速度 1GHz 以上のプロセッサを搭載した PC
メモリ	1GB 以上
ハードディスク	16GB 以上の空き容量
ディスプレイ	SVGA(1024×768)以上の高解像度ビデオアダプタおよびモニタ 16bit 色以上
LAN	100BASE-TX/10BASE-T
通信回線	上り下り両方向とも実行通信速度 200kbps 以上の ADSL 回線、または光回線などのインターネットに接続できる環境
アプリケーション	Sun Microsystems Java (TM) SE Runtime Environment 1.6.0 (6.0)

※1 ルータを経由した通信は保証できません。

※2 Java (TM) SE Runtime Environment 1.6.0 (6.0)がインストールされていない場合は、次の操作によりインストールしてください。(インターネットに接続できる環境が必要です)

※3 記載されていない環境ではサポート範囲外となります。

※4 64bit 版の Microsoft Internet Explorer8 の動作確認を行っていますが、弊社では 32bit 版のご利用を推奨します。

※5 Microsoft Windows XP 及び Windows Vista については 32bit 版のみ動作確認を行っています。



注意

Java (TM) SE Runtime Environment 5.0 以前の古いバージョンを、インストールしないでください。
正常に、操作できない場合があります。

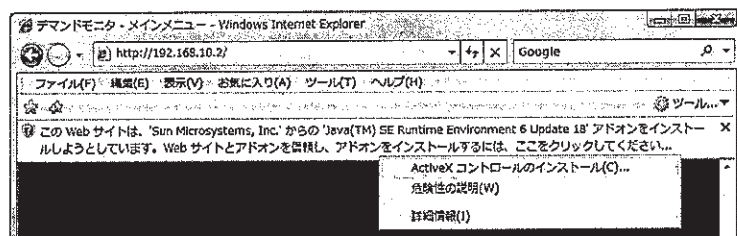
《マニュアル内の画面表示について》

マニュアル内の各画面については、一部の画面を除き Windows7 の Internet Explorer8 の画像で統一しています。

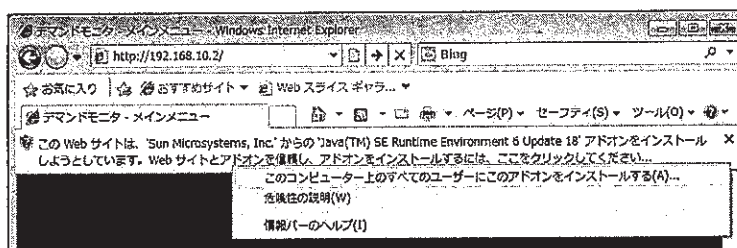
そのため、ご使用のブラウザによっては細部が異なる場合がありますので、ご了承ください。

《DMX-2000 接続時に JavaSE をインストールする》

- ① DMX-2000 にアクセスを行った際に、JavaSE がインストールされていない場合、DMX-2000 を通じて JavaSE のダウンロードおよびインストールを行うことができます。
※ DMX-2000 がインターネットに接続できる環境が必要です。また、ダウンロードおよびインストールを実施できる JavaSE は 32bit 版のみとなります。
- ② ブラウザのアドレスバーの下に以下のようなインストールを促すメッセージが表示されますので、クリックし、Internet Explorer6、Internet Explorer7 の場合は「ActiveX コントロールのインストール」、Internet Explorer8 の場合は「このコンピュータ上のすべてのユーザーにこのアドオンをインストールする」を選択します。

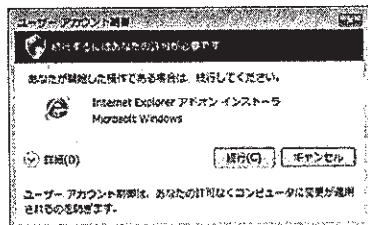


Internet Explorer6, Internet Explorer7 の場合

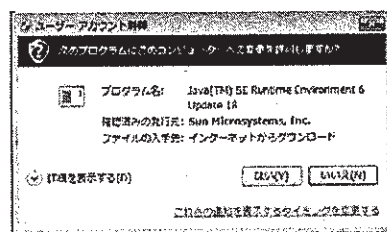


Internet Explorer8 の場合

- ③ OS が Windows Vista、Windows 7 の場合は続けてユーザーアカウント制御のダイアログが表示されますので、Windows Vista の場合は「続行」、または Windows 7 の場合は「はい」をクリックします。

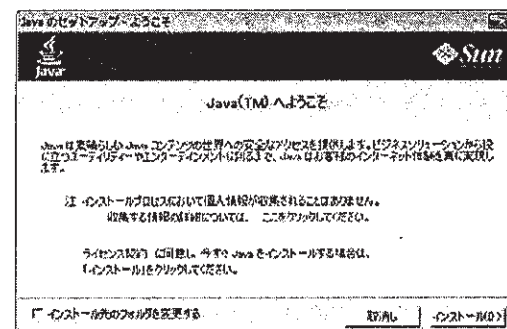


Windows Vista の場合



Windows 7 の場合

- ④ JavaSE のインストール画面が表示されるので、画面に従ってインストールを行います。

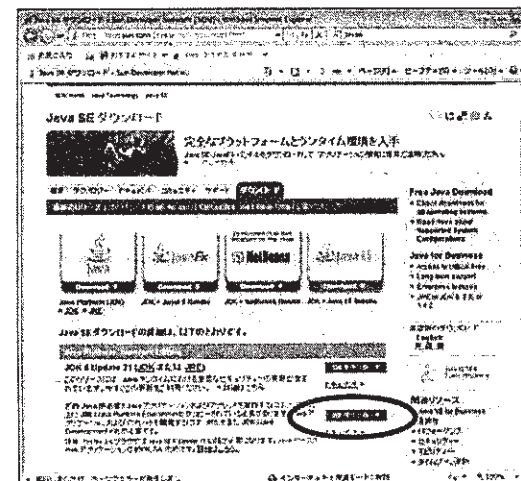


注意

DMX-2000 を通じてインストールされる Java (TM) SE Runtime Environment は、32bit 版のみとなります。64bit 版のブラウザでは本機能はご利用いただけません。64bit 版のブラウザをご利用の場合は、(→別冊のデマンドモニタシリーズトラブルシューティングの 2. ブラウザについて / ■64bit のブラウザを使用される場合) を参照してください。

《パッケージを入手し JavaSE をインストールする》

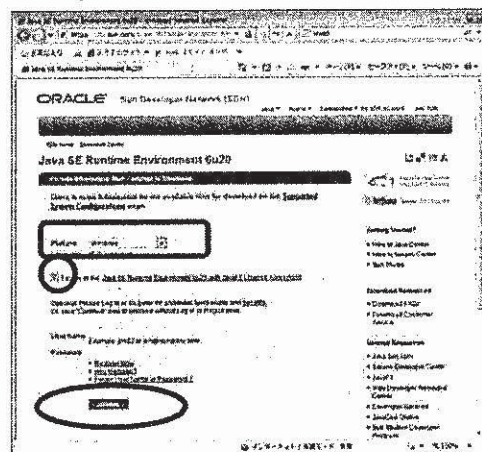
- ① ブラウザを起動し、<http://java.sun.com/javase/ja/6/download.html> にアクセスします。
- ② [JRE ダウンロード] をクリックします。



- ③ [Platform] のタブより「Windows」(お使いのブラウザが 64bit 版の場合は [Windows X64]) を選択し、[I agree to the Java SE Runtime Environment 6u20 with javaFX 1 License Agreement] にチェックを入れ、[Continue] をクリックします。

[Optional] の Username, Password は、アカウント登録されていない場合は未入力で問題ありません。

※ 配布されている最新のパッケージと本書記載のバージョンは異なる場合があります。



- ④ [Windows Offline Installation] の [jre-6u20-windows-i586.exe] (お使いのブラウザが 64bit の場合は [jre-6u20-windows-x64]) をクリックします。

Available Files

File Description and Name	Size
Windows Offline Installation	15.54 MB
jre-6u20-windows-i586.exe	

- ⑤ [ファイルのダウンロード] 画面が表示されるので、[保存] ボタンをクリックしてファイルをダウンロードします。

- ⑥ WindowsXP の場合、ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

以降は、画面に表示される指示に従って操作してください。

WindowsVista, Windows7 の場合、⑦からの方法でインストールを実行してください。

注) Windows の環境によっては、インストールの途中で [Sun Microsystems, Inc. からの内容を常に信頼する] の問い合わせ画面が表示されることがあります。この場合、[Sun Microsystems, Inc. からの内容を常に信頼する] を有効にする(チェックを入れる)ことをおすすめします。(無効にした(チェックしなかった)場合、ブラウザを起動してデマンドモニタ II にアクセスするたびに、この問い合わせ画面が表示されます。)

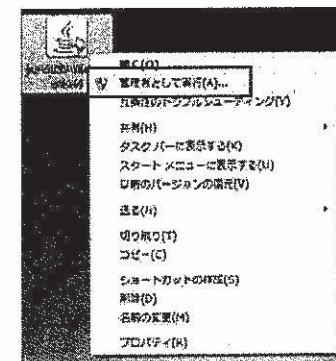
また、インストール実行時に次のメッセージが表示され、インストールできないことがあります。

- このインストールプログラムは、ご使用のインターネット接続設定では実行できません。詳細はインストールノートをご覧ください。
- ソースファイルが見つかりません。ファイルが存在するかどうか、およびこのファイルへのアクセス権があるかどうかを確認してください。
- このインストールパッケージを開くことが出来ません。

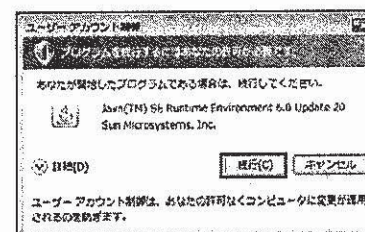
原因 ルータ等のファイアウォールによりインストールに必要なポートが閉じられ、Java ソフトウェアがダウンロードできなくなっています。

処置 PC の構成や Windows のバージョンをお調べの上、弊社営業窓口までお問い合わせください。

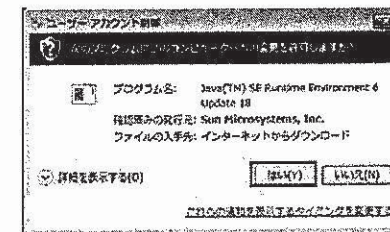
- ⑦ WindowsVista, Windows7 で Java (TM) SE Runtime Environment 1.6.0 (6.0) をインストールするときは、管理者権限のあるアカウントにて、セットアップファイルを右クリックし、「管理者として実行」を行ってください。通常通りにセットアップを行うと、エラーとなります。



- ⑧ 許可を求められますので WindowsVista の場合は「続行」、Windows7 の場合は「はい」をクリックし、インストールを開始します。



WindowsVista の場合



Windows7 の場合

- ⑨ 以降は、画面に表示される指示に従って操作してください。